

平成24年度 前期入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 84

千葉県立四街道北高等学校 全日制の課程 普通科

(1)選 抜 枠		1 4 4 名 (2 4 0名の中の60%)	
(2)期待する生徒像		① 本校を志望する動機が明確であり、高校生活に夢と意欲を有する者 ② 次の ア 又は イ のいずれかの要件を満たす者 ア 中学校生活全般にわたり積極的な取り組みを行い、学習成績に優れた面がある。 イ 中学校において部活動に積極的に参加し、本校入学後も継続して部活動に取り組む意志がある。	
(3)第2日の検査内容		面 接	
選 抜 資 料	① 学 力 検 査	5教科の得点を合計した数値で評価する。	
	② 調 査 書	調査書中の各学年における国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の評定の合計値を評価する。	
	③ 面 接	個人面接、面接委員 3 名、一人当たりの時間：おおむね5分以内 A ~ D の4段階で評価する。	
	④ 志願理由書	本校を志望する動機が明確に記載されているか評価する。	
評 価 項 目 及 び 評 価 基 準	① 学 力 検 査	㉞ 学力検査の国語、数学、英語、理科、社会の得点の合計点 ㉟ 10点未満の科目のある場合は、審議の対象とする。	
		② 調 査 書	教科の学習の記録
	X：個人評定合計値（調査書中の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計） α：評定合計標準値（県が別に定めた評定合計の標準値） m：中学校評定合計平均値（各中学校の第三学年に在籍する生徒の調査書中の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計の平均）		
	行動の記録		・ 行動の記録の○印の数及び内容で評価する。
	出欠の記録		・ 出欠状況等を評価する。
	特別活動・部活動等の記録		㉞ 部活動実績・記録を評価する。 ㉟ 各種検定等の資格・表彰を評価する。 ㊱ 生徒会・委員会・学級活動・学校行事・その他を評価する。
	③ 面 接	・ 次の ア ~ エ の各評価項目について評価基準を基に評価する。	
		評 価 項 目	評 価 基 準
ア 服装等などの身だしなみ		清潔で高校生としてふさわしいか。	
イ 質問に対する応答		質問に対して誠実かつ適切な応答ができたか。	
ウ 中学校生活の充実度		中学校生活等で、熱心に取り組んだものがあるか。	
エ 高校生活への意欲・関心	高校生活に対する意欲・関心が感じられるか。		
④ 志願理由書	・ 本校を志望する強い動機を持っているか評価する。		

<p>(6)</p> <p>選 抜 方 法</p>	<p>⑤ 次の ①・② を点数化 (満点 850 点) + ③ 面接 の評価 + ④ 志願理由書</p> <table border="1" data-bbox="277 159 1417 353"> <tr> <td data-bbox="277 159 544 203">① 学 力 検 査</td> <td data-bbox="544 159 780 203">500 点</td> <td data-bbox="780 159 1417 203">100 点 × 5 科目</td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 203 544 248">② 調 査 書</td> <td data-bbox="544 203 780 248">350 点</td> <td data-bbox="780 203 1417 248">算式1で求めた値を2倍 + 数値化した記載内容</td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 248 544 293">③ 面 接</td> <td data-bbox="544 248 780 293"></td> <td data-bbox="780 248 1417 293">C 及び D の評価がある場合には審議する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 293 544 353">④ 志願理由書</td> <td data-bbox="544 293 780 353"></td> <td data-bbox="780 293 1417 353">総合判定時の資料とする</td> </tr> </table> <p>①②により順位をつけ、③④の評価を加味して、総合的に判定して、選抜する。</p> <p>⑥ 欠席が多い理由又は障害があることによって生ずる事柄等について説明するために、志願者から自己申告書が提出された場合は、これを選抜のための資料に加える。 ただし、提出されたことにより、不利益な取り扱いを一切行わない。</p>	① 学 力 検 査	500 点	100 点 × 5 科目	② 調 査 書	350 点	算式1で求めた値を2倍 + 数値化した記載内容	③ 面 接		C 及び D の評価がある場合には審議する	④ 志願理由書		総合判定時の資料とする
① 学 力 検 査	500 点	100 点 × 5 科目											
② 調 査 書	350 点	算式1で求めた値を2倍 + 数値化した記載内容											
③ 面 接		C 及び D の評価がある場合には審議する											
④ 志願理由書		総合判定時の資料とする											
<p>(7)</p> <p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内定予定者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、協定書の範囲内であることを確認する。 												

平成24年度 後期入学者選抜の選抜・評価方法

(1)選 抜 枠	96名 (240名の内の40%)											
(2)学力検査以外の 検査内容	面 接											
(3) 選 抜 資 料	① 学 力 検 査	5教科の得点を合計した数値で評価する。										
	② 調 査 書	調査書中の各学年における国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術・家庭及び外国語の評定の合計値を評価する。										
	③ 面 接	個人面接， 面接委員3名 ，一人当たりの時間：おおむね5分以内 A～Dの4段階で評価する。										
(4) 評 価 項 目 及 び 評 価 基 準	① 学 力 検 査	㉞ 学力検査の国語，数学，英語，理科，社会の得点の合計点 ㉟ 10点未満の科目のある場合は，審議の対象とする。										
	② 調 査 書	㉞ 調査書の各学年における国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健，体育，技術・家庭及び外国語の評定の合計値を評価する。 ㉟ (算式1) $X + \alpha - m$ を使用する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> X：個人評定合計値（調査書中の国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計） α：評定合計標準値（県が別に定めた評定合計の標準値） m：中学校評定合計平均値（各中学校の第三学年に在籍する生徒の調査書中の国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計の平均） </div>										
	行動の記録	・ 行動の記録の○印の数 及び 内容で評価する。										
	出欠の記録	・ 出欠状況等を評価する。										
	③ 面 接	・ 次の ア～エ の各評価項目について評価基準を基に評価する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; padding: 5px;">評 価 項 目</th> <th style="width: 50%; padding: 5px;">評 価 基 準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">ア 服装等などの身だしなみ</td> <td style="padding: 5px;">清潔で高校生としてふさわしいか。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">イ 質問に対する応答</td> <td style="padding: 5px;">質問に対して誠実かつ適切な応答ができたか。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">ウ 中学校生活の充実度</td> <td style="padding: 5px;">中学校生活等で，熱心に取り組んだものがあるか。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">エ 高校生活への意欲・関心</td> <td style="padding: 5px;">高校生活に対する意欲・関心が感じられるか。</td> </tr> </tbody> </table>		評 価 項 目	評 価 基 準	ア 服装等などの身だしなみ	清潔で高校生としてふさわしいか。	イ 質問に対する応答	質問に対して誠実かつ適切な応答ができたか。	ウ 中学校生活の充実度	中学校生活等で，熱心に取り組んだものがあるか。	エ 高校生活への意欲・関心
評 価 項 目	評 価 基 準											
ア 服装等などの身だしなみ	清潔で高校生としてふさわしいか。											
イ 質問に対する応答	質問に対して誠実かつ適切な応答ができたか。											
ウ 中学校生活の充実度	中学校生活等で，熱心に取り組んだものがあるか。											
エ 高校生活への意欲・関心	高校生活に対する意欲・関心が感じられるか。											
(5) 選 抜 方 法	㉞ 選抜のための学力検査の成績，中学校から送付された調査書 及び 本校において実施した面接検査の結果を資料とし，本校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して，入学者の選抜を行うものとする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tbody> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">① 学 力 検 査</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">500点</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">100点 × 5科目</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">② 調 査 書</td> <td style="padding: 5px;">270点</td> <td style="padding: 5px;">算式1で求めた数値(135点) × 2倍</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">③ 面 接</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;">C 及び D の評価がある場合には審議</td> </tr> </tbody> </table>		① 学 力 検 査	500点	100点 × 5科目	② 調 査 書	270点	算式1で求めた数値(135点) × 2倍	③ 面 接	C 及び D の評価がある場合には審議		
	① 学 力 検 査	500点	100点 × 5科目									
② 調 査 書	270点	算式1で求めた数値(135点) × 2倍										
③ 面 接	C 及び D の評価がある場合には審議											
㉟ 次の(1)から(3)までの条件を全て備える者をA組とし，この者は入学許可候補者とする。 <p style="margin-left: 20px;">(1) 算式1で求めた数値によって順位をつけたとき，受検者数が募集人員を超えた場合，募集人員の80パーセント以内にある。 (ただし，受検者数が募集人員以内の時には，受検者数の80パーセント以内。)</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 学力検査の5教科の得点合計によって順位をつけたとき，受検者数が募集人員を超えた場合，募集人員の80パーセント以内にある。 (ただし，受検者数が募集人員以内の時には，受検者数の80パーセント以内。)</p>												

(3) 調査書の記載内容、学力検査の個々の教科の得点、本校において実施した面接検査の結果等において、以下の項目に該当しない。

- | | |
|---|------------------------|
| ① | 学力検査の得点が10点未満の科目のある |
| ② | 学習の記録に評定1がある |
| ③ | 調査書の「行動の記録」の○の数が1以下である |
| ④ | 欠席日数が3カ年通算で30日を越える |
| ⑤ | 「総合所見」において特別の記載のある |
| ⑥ | 面接の評価にCやDがある |

㉔ A組に属さない者をB組とし、この者については、算式2によって求めた数値及び、調査書の内容と面接の結果を資料として総合的に判定する。

(算式2) $Y + K \times Z$

《算式2の符号》	Y：学力検査の5教科の得点合計
	K：2
	Z：算式1で求めた数値

選
抜
方
法

㉕ 次の(1)・(2)に該当する場合は、記載のように判断する。

(1) A組への所属を決定するに当たり、第1、2学年においてすべての生徒が共通に履修する外国語を履修していない者については、調査書中の他の教科の評定を勘案し、また、評定の段階が所定のものでない者については、他の者の資料と比較検討したうえで決定することを原則とし、これにより難しい場合は、すべてB組に所属させる。

(2) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者で、所定の調査書が提出できない者については、学力検査の結果に、提出書類等を資料に加え、総合的に判定する。

㉖ 欠席が多い理由又は障害があることによって生ずる事柄等について説明するために、志願者から自己申告書が提出された場合は、これを選抜のための資料に加える。
ただし、提出されたことにより、不利益な取り扱いを一切行わない。

(6) その他
・ 入学許可候補者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、協定書の範囲内であることを確認する。